

行政改革の取り組み状況をお知らせします

市では平成19年2月に「日光市行政改革大綱」と「日光市集中改革プラン」を策定し、行政改革を推進しています。

今回は、その取り組み状況をお知らせします。

くわしくは 行革・情報推進課 行政改革推進係

☎(21)5147

どうして行政改革が必要なのか？

現在の市の情勢は、税収や国からの補助金などが減少しており、非常に厳しい財政状況となっています。その一方で、住民のニーズや価値観は多様化し、これまでのように事業を進めていくことが非常に難しくなっています。

このような状況を打開し、市民の皆さんが本当に必要なサービスを提供していくためには、積極的に行政改革に取り組み、限られた資産を効率的かつ効果的に活用し、地方分権により自立した行政経営を進めていく必要があります。

「日光市行政改革大綱」と「日光市集中改革プラン」

市では、行政改革の基本方針となる「日光市行政改革大綱」を策定し、その中で7つの基本テーマを設けました。さらに、それを実行するための具体的な目的や方法、時期、数値目標などを示した「日光市集中改革プラン」を策定し、改革への着実な取り組みを進めています。

「日光市集中改革プラン」の平成19年度進捗状況

「日光市集中改革プラン」において取り組んでいる項目は、全部で135

項目です。平成19年度の進捗状況は、次のとおりとなっています。

- ◆達成：26件(19.3%)
- ◆継続：54件(40.0%)
- ◆未了：55件(40.7%)

これらの取り組みによる職員数の削減や民間委託の推進などで、18億1,622万3,189円の財政的効果がありました。しかし、その効果は財政的なものだけではありません。コストには反映されない、市民サービスの向上や行政の効率化など、さまざまな面に効果が表れています。なお、集中改革プランの進捗状況を7つの基本テーマごとにまとめたものが、下の枠内の円グラフです。

◎誰が何を評価するの？
平成19年度に実施した、ほぼ全ての事務事業を、チェックシートによって評価しました。まず、担当部署で第1次評価を行いました。次に特に市民の皆さんの生活に直接関わる主要な28の事業について、庁内で組織した評価委員会が第2次評価を行い、より評価の客観性を高めました。その結果は、次のとおりです。

重点的に継続する	継続する	縮小を検討する	ほかの事業との統合を検討する	完了する
130件	75件	1件	1件	21件

◎結果はどう活用されるの？

評価の結果に基づき、担当部署で事務事業の改善に取り組みます。また、市の実施計画を策定する企画部門や予算編成を行う財政部門と連携し、全庁的な改革を目指します。

公開しています

集中改革プランでは、行政評価を導入して効率的な行政経営を目指すものとしています。今回、平成19年度事業の評価結果をお知らせします。

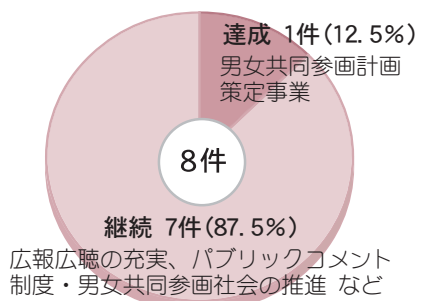
◎何のために評価するの？
行政評価とは、職員一人一人がコスト意識を持ち、目的に合った成果が得られたかどうかを改めてチェックするものです。それによって課題や改善点を今後の業務に活かすことで、市民サービスの向上を目指します。また、結果を公表し行政活動の透明性向上を図ります。

集中改革プランの進捗状況や、行政評価(第2次評価)については、市ホームページからご覧になれます。また、行政評価の事務事業チェックシートは、市ホームページのほか、行革・情報推進課および各総合支所総務課でも閲覧することができます。ぜひご覧ください。

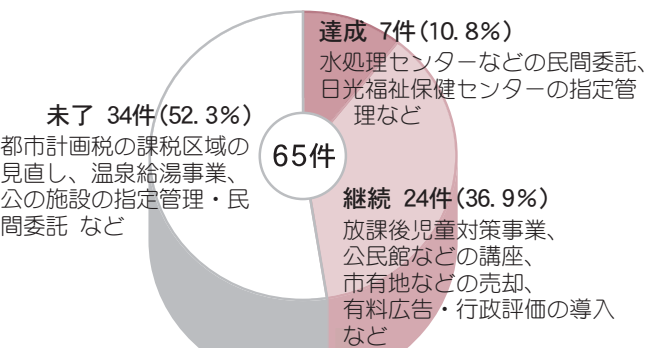
集中改革プランの進捗状況(7つの基本テーマごとの内訳)

- 達成…目的を達成した取り組み
 - 継続…継続して実施する必要があるものおよび目的達成が一部であり、引き続き取り組みを進めるもの
 - 未了…検討中または検討未着手のもの
- ※継続や未了となっている項目については、引き続き達成に向けて取り組んでいきます。

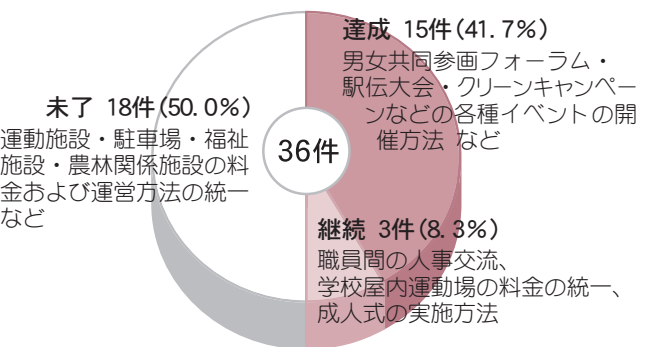
④市民との協働によるまちづくりの推進



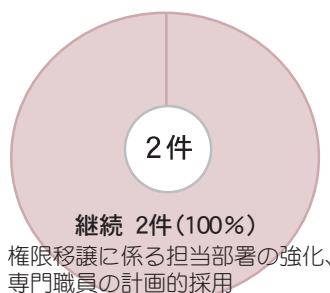
⑤効率的な行政経営システムの確立



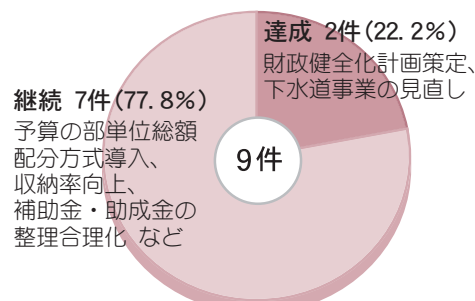
①早期の一体感の醸成・各地域の均衡ある振興・発展



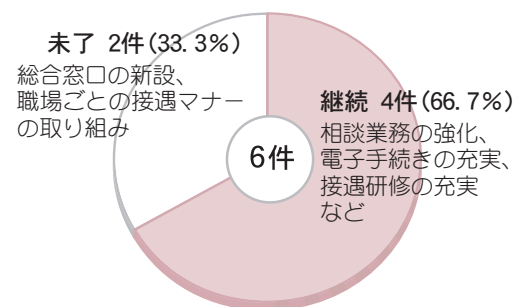
②地方分権型社会システムの構築



⑥財政基盤の確立



③市民サービスの向上



⑦組織機構・人事管理制度の見直し

